

母子保健指導・子育て支援のあり方を考える

—現在と過去、乳幼児健診結果の比較から—

○土蔵百恵（天津市保健所健康推進課堅田すこやか相談所）

龍田直子 川口房子 平野美香 吉川祐子（天津市保健所健康推進課）勝山和明（天津市保健所長）

1. 目的

天津市では、乳幼児健診の要経過観察率が、年々高くなってきている。特に1歳9か月児健診での「応答の指さし」においては、4/6以上という通過基準があるが、十数年前に比べ、通過率が著しく低下していると感じていた。また、10か月児健診においても、「ずりばい」・「はいはい」が充分獲得できていないまま、「つかまり立ち」を先に獲得する傾向が少なくない印象を受けていた。

このことを数値的に分析することにより、現代の子どもの課題、子育て観の変化の有無が明らかとなり、今後の保健指導・子育て支援のあり方が見えてくるのではと思ひ、調査を実施した。

2. 方法

対象：堅田すこやか相談所管内における平成11年度生124人（以下A群という。）、平成22年度生105人（以下B群という。）

調査①：A・B群の10か月児健診・1歳9か月児健診・2歳6か月児健診・3歳6か月児健診（以下1：9、2：6、3：6という。）結果を項目別に抜き取り、健診対象月における獲得の有無について比較検討を行った。

調査②：問診項目である「育児をしていてイライラすると感じることは多いですか。」に対する回答結果について、A・B群の比較検討を行った。

3. 結果

調査①：10か月児健診における「ずりばい」・「はいはい」・「つかまり立ち」・「まね」いずれの項目においても、A群と比較し、B群の通過率は低下していた。特に、「つかまり立ち」において、A群の通過率は90.3%に対し、B群は74.3%と大きく下回っていた。

歩行の獲得時期を比較すると、A群では、9～15か月頃が最多であるのに対し、B群では、2か月遅れて11～16か月頃が最多であった。また、B群では獲得の月齢が7～16か月と個人差が大きいことが分かった。

「応答の指さし」（1：9）において、A群の通過率は93.5%に対して、B群は74.3%と大きく下回っていた。

しかし、「二語文」（2：6）⇒「氏名」（3：6）と健診年齢が上がるにつれて、A群B群の有意差は見られなくなった。

調査②：「育児をしていてイライラすると感じることは多いですか。」の質問に対して、A群では「はい」と回答された方が、2：6（32.1%）⇒3：6（20.3%）と減少していた。

一方B群では、10か月児健診からこの質問が導入され

ており、「はい」・「いいえ」に加え、「どちらともいえない」という回答選択も追加となっている。「はい」・「どちらともいえない」と回答された方が、10か月児健診（40.9%）⇒1：9（48.6%）⇒2：6（54.3%）⇒3：6（57.3%）と健診年齢が上がる度に増加していた。

4. 考察

以上の結果から、運動・精神発達が10年前と比較して、現在では遅れて獲得する傾向にあることがわかった。

また、「育児をしていてイライラすることが多い」とことについて、10年前では、子どもの年齢が上がる毎に、減少していたが、現在では、年齢が上がる毎に、増加していることがわかった。

近年、核家族化や離婚などの様々な社会的背景から、育児協力者が身近にいない・相談できない状態で育児をしておられる方が少なくない。それ故に育児書（いわゆるマニュアル）に頼らざるを得ない状況がある。しかし、子どもの成長は個々に違い、育児書通りにはいかないことが多々ある。その中で、養育者は混乱をきたし、子どもの精神発達上にも影響しているのではないかと思われる。

精神科医ボウルビィは愛着理論の中で、「乳幼児と母親との人間関係が親密かつ継続的で、しかも両者が満足と幸福感に満たされるような状態が乳幼児の性格発達や精神衛生の基礎である」と述べている。このような状態を作る支援が、今、私達に求められていると感じる。

具体的には、子どもへのあやし方・遊び方を、目で見て・感じられる場の提供をする事。子どもの良い所を提示し、自分の関わり方がこれで良いと思える安心感を与える事である。

しかし、健診や家庭訪問などの個別支援だけでは限界がある。そこで、各機関における「あそびの広場」を通して、実践していただけるよう、今年度の子育てネットワーク会議において、この課題の共通認識を行った。

また、天津市全体の取り組みとして、子育て困難感を抱える方に対し、乳児～幼児期にかけて切れ目なく支援できるよう、他課と連携して親支援プログラムを始めている。

機関の枠を越え、「子どもがかわいい・子育てが楽しい」と思える環境づくりをしていくことが、子どもの成長発達を促すこと。更に将来的には、子育て困難感の次世代への連鎖を断ち切ることに繋がると考える。